

土壌細菌を用いた糞尿処理の試案

榎 谷 雅 文

釧路地区 NOSAI 阿寒釧路支所

1. はじめに

近年地球環境を維持する上で畜産業界から出される糞尿、悪臭が問題となっている。耕地面積の広い北海道でも規模拡大と共に周辺地域及び河川の下流域での糞尿による水質汚染が叫ばれている。今回筆者は低コスト、低労働力で糞尿を処理できる可能性を秘めた細菌を利用して、糞尿処理及び草地の維持、反収の増加に良い結果が得られたので報告する。

2. 材料及び方法

92年3月より細菌2種類、商品名バイオアップ土壌改良剤、バイオアップ消臭剤（以下細菌と略する）を、酪農家の尿溜、スラリータンクに入れ、5月より圃場散布して作物の比較をした。又、細菌投入前後の糞尿から発

生するアンモニアガスの検知、糞尿の化学的変化も併せて調査した。

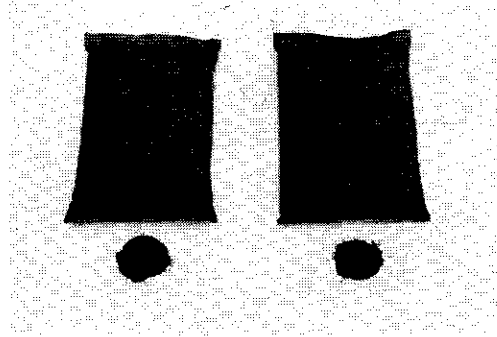


写真1

